



今年も
お願い
致します。

	11月				12月			
	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)
本年	23.3	18.1	20.7	100.0	20.2	14.3	17.4	79.5
平年	24.3	18.5	21.4	118.0	20.3	14.7	17.5	111.7
平年差	-1.0	-0.4	-0.7	-18.0	-0.1	-0.4	-0.1	-32.2

年頭の御挨拶

新年明けましておめでとうございます。

2021/2022年度の製糖は12月12日より開始いたしました。

新年は1月6日早々からの正月気分が抜けない中での製糖再開と

なり、生産農家様、ハーベスター組合様、関係各所の皆様方のご協力で、さとうきび刈取、集荷作業への対応をいただいた事に感謝申し上げます。

前年度は、コロナ感染防止を重視した取組みを行いました。今年度もコロナウイルスの新型株の感染拡大が大変に危惧されていますので、前年度同様に手洗い、アルコール殺菌、マスク着用、密を避けるなどの感染防止に取り組んで参ります。

さて今年度の原料処理見込みは、過去6番目に低かった昨年度と比較して11,000トン多い75,000トンを見込んでおります。幸いにも直接的な台風被害が無く良い年でありましたが、収穫面積約1,300haで75,000トンは若干物足りない量だと思えます。これは、年々単収が漸減していると思われ、大変に懸念しております。

生和糖業としましては、適期管理を推進し単収向上に向けた春植推進期間を前年度と同様に設けます。前年度の春植推進期間は、天候に恵まれませんでしたので、今年度は弾力的に天候の良い日に日程を調整致しますので、この期間は春植作業、株出管理などに取り組んでいただき、単収向上につなげられる様、ご協力をお願い致します。また、労働力不足を補うため微力ではありますが、農業開発組合とタイアップし生和糖業の社員も圃場管理作業に参加致しますので宜しくお願い致します。

最後に、さとうきびの刈取、搬入時には安全作業、安全運転を心がけていただき、なによりも大切な安全第一を優先していただく様宜しくお願い致します。

本年が、生産農家様、ハーベスター組合様、関係各所の皆様方、及び生和糖業にとりまして、良い年になります様に祈念致しております。

生和糖業(株) 取締役工場長
山本 茂樹

第63期製糖期始まりました

12月10日(金)に第63期製糖開始、12日(日)に生和糖業(株)にて関係機関の方々が参列するなか晴天にも恵まれて、さとうきび搬入の出発式を催すことができました。

生和糖業では今期から、計量方式の変更に伴い計量が自動化されます。監視カメラを設置し計量時の記録・トラブル発生時の証跡の確保を行うことができます。計量スケールも入場と退場を別にする事でスムーズに計量出来るようになりました。

12月12日から4月1日までの製糖操業を安全第一に心掛けてまいります。

12月12日 出発式



今期の操業計画

きび処理見込	75,000 t
搬入圧搾開始	12月12日
搬入終了予定	4月1日
操業終了予定	4月3日
洗缶日予定	2月14日
	15日
春植推進デー	2月16日
	5
	2月19日

さとうきび日記

生和糖業(株)原料係
岩井 辰矢さん
(赤連集落)

第2回

9月7日 (水)

- 植付から12日で発芽確認☺
可愛い芽が出てきました🐣

発芽写真



9月末日

- アサガオが圃場の一部に大量発生したので手で抜取！ 幼葉ならスイスイ抜けます！

10月5日 (火)

- 追肥BB538 40kg 投入
追肥を投入し、中耕作業

10月19日 (火)

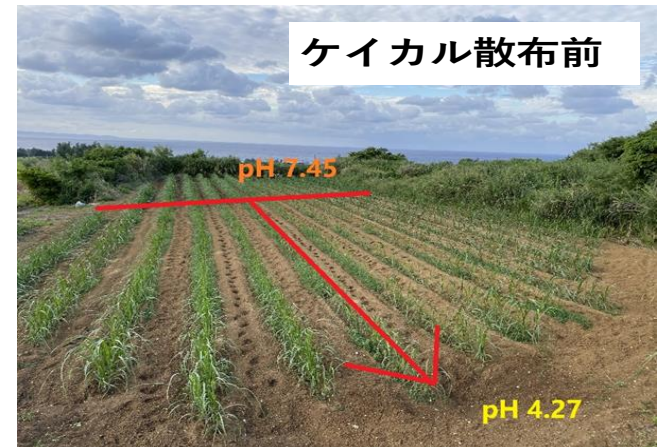
- 一部、葉が黄緑になっている所があったのでNK80を20kg投入しました。



11月14日 (日)

- 中耕
全体に追肥 40kg 左半分にケイカル1袋投入
圃場で、分けつ・生長が著しく低いところがあり、経過観察して、様子を見る・・・☹

ケイカル散布前



農政普及課の田中さんに相談し、pHを測って頂いたら低いところでpH4.27, 高いところでpH7.45という結果になりました。

本来、植付前にpH矯正をしますが、途中で矯正しても効果があるのか？という実験のため、低いところ半分にだけケイカルを入れてみました。



ケイカル散布



ケイカル散布一月後

一か月後... 前より少し良くなったように見えます。

ケイカルは、苦土・マンガン・鉄・ホウ素といった植物の生長に必要な微量元素を含む優れた肥料です。また、アルカリ性の性質を持ち、土壌改良剤として用いられることが多い。



注意事項

雑草警戒情報

ツルムラサキ、ケイトウホルンは観賞用として知られていますが、圃場内で繁殖すると、生育が旺盛なため早めの防除が肝心!!!

アルカリ性の土壌を好み、猛暑に強い！



ケイトウホルン

ケイトウホルンは徳之島や与論の圃場で確認され、ツルムラサキは喜界島内の圃場でも確認されています。見つけたら早めの対策を!!!



ツルムラサキ

高温多湿に強くツルが伸びやすいので早めの対処が肝心！

編集後記

ある日、知人に「さとうきびの花言葉は何ですか？」と尋ねられたが応えることが出来なかった。調べてみると「平和」と書かれていた。そもそも花言葉とは、どうやって誰が決めているのか疑問に思い、由来を調べてみる事にした。花言葉とは、植物の花や実などに与えられた象徴的な意味を持たせるもので、花だけでなく植物全般に付けられているようだ。植物に意味を持たせる風習は古くから世界中であって、花言葉の起源には諸説あるが、中でも最も有力なのが17世紀ごろトルコで発祥したという説がある。日本には明治時代の初期に西洋文化と共に伝わったとされている。花言葉は、神話・伝説・花の特徴・その国の歴史・風習・花の色などから決められている。話は戻るが、何故さとうきびに「平和」をあてたのか由来を調べてみたが解答を得ることはできなかった。花言葉にある背景を知ることにより深い意味を感じることができる。貴方なら花言葉の「平和」の意味をどう解釈しますか？

